

所 属	環境生活部県民文化局文化創造課		
係 名	文化施設係	内線	2458
	文化振興係		2455
所 属	環境生活部県民文化局文化伝承課		
係 名	教育文化係	内線	3576

## 新 国際交流を通じた「清流の国ぎふ」文化の発信

### 1 事業費 37,520 (前年度 0)

#### 【財源内訳】

国庫 4,500  
 諸収入 5,000  
 一般財源 28,020

#### 【主な用途】

委託料 16,926 (事業委託)  
 負担金 12,220 (実行委員会負担金)

### 2 背景・事業目的

県では、「文化」を活用した国際交流の促進をより一層強化するため、海外と連携した交流促進事業を展開するとともに、県内各地域に根付く「清流の国ぎふ」文化の魅力を世界に向けて発信することで、国際交流の更なる発展及び岐阜県への誘客促進を目指す。

### 3 事業概要

#### (1) サラマンカ大学創立800周年記念事業費 (12,220 千円)

サラマンカ大学創立800周年に係る日本での記念事業（記念コンサート、学術シンポジウム等）を、同大学の所在地にその名称が由来するサラマンカホール等で開催する。（実行委員会への支援）

#### (2) ジャポニスム2018等参加事業費 (19,000 千円)

フランス・パリで開催される大規模な日本紹介行事「ジャポニスム2018」等に参加し、地歌舞伎公演や解説講座、体験ブースなど、伝統文化の魅力を発信する事業を展開する。

#### (3) オ＝ラン県との図書館交流事業費 (6,300 千円)

「岐阜県（日本）とオ＝ラン県（フランス）との友好交流に関する覚書」の締結（平成30年予定）を契機に、両県の図書館間での交流を始めるとともに、フランスを知る交流会や展示、講演会を県図書館で開催する。

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (2) 企画調査費
(明細書事業名) ○文化施設管理費		
	県民ふれあい会館管理運営費	
(明細書事業名) ○総合文化推進費		
	総合文化行政施策推進費	
(明細書事業名) ○図書館費		
	図書館活動推進費	

所 属	環境生活部県民文化局文化創造課・文化伝承課		
係 名	文化振興係・文化施設係・教育文化係・記念物保護係	内線	2455・2458・3576・3587

## 県有文化施設における「明治150年」関連事業の展開

1 事業費 55,735 (前年度 601)

【財源内訳】

【主な用途】

国庫 18,675 委託料 37,706 (事業委託)

一般財源 37,060 負担金 12,220 (実行委員会負担金)

### 2 背景・事業目的

明治150年となる平成30年を迎え、明治期の文化や歴史を振り返り、将来につなげていくために、県有文化施設において近代文化や産業の誕生と変遷、県ゆかりの先人を紹介する展示や講演会を開催する。

### 3 事業概要

#### 新 (1) 明治150年記念事業の実施 (26,136千円)

ぎふ清流文化プラザにおいて、明治期の県ゆかりの偉人「原三溪(はらさんけい)」をテーマにしたトークイベントなどを実施する。

#### 新 (2) サラマンカ大学創立800周年記念事業 (12,220千円) 【再掲】

サラマンカホールにおいて、国交樹立150年を迎えるスペインのサラマンカ大学創立800周年記念行事の開催等を支援する。

#### (3) 「明治150年展」「明治以降の美濃陶芸展」等の開催 (11,316千円)

県美術館及び現代陶芸美術館において、明治期における美術界の変貌と発展を振り返る。

#### (4) 「ロダンと花子展」や鹿児島県との交流事業の開催 (5,601千円)

県図書館において、欧州と日本の文化の懸け橋となった女性の紹介や、鹿児島県との連携・交流事業の一環として、明治をテーマにしたトークイベント等を開催する。

#### 新 (5) 「明治に発想！天然記念物の祖 三好 学」等の開催 (150千円)

県博物館において、天然記念物の概念を日本に広めた「三好 学(みやしまなぶ)」の紹介や、明治維新後の岐阜県誕生の歴史を振り返る展示を実施する。

#### 新 (6) 「飛騨の近代化を支えた産業～蚕と糸～」の開催 (312千円)

国史跡「高山陣屋跡」において、江戸時代から明治・大正・昭和にかけての飛騨の蚕糸業の近代化を振り返る。

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (2) 企画調査費
(明細書事業名)	○文化施設管理費	ぎふ清流文化プラザ管理運営費
(明細書事業名)	○文化施設管理費	県民ふれあい会館管理運営費
(明細書事業名)	○美術館費	美術館展示費
(明細書事業名)	○現代陶芸美術館費	現代陶芸美術館展示費
(明細書事業名)	○図書館費	図書館活動推進費、図書館管理運営費
(明細書事業名)	○博物館費	博物館展示費
(明細書事業名)	○文化財保護費	高山陣屋管理運営費

所 属	環境生活部県民文化局文化創造課		
係 名	文化振興係	内線	2455
所 属	環境生活部県民文化局文化伝承課		
係 名	伝統文化係	内線	3569
	記念物保護係		3587

## 新 伝統文化、文化財の保存・伝承への支援

- 1 事業費 32,500 (前年度 0)
- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| 【財源内訳】      | 【主な用途】              |
| 国庫 2,500    | 委託料 12,007 (調査業務)   |
| 一般財源 30,000 | 補助金 9,500 (保存会への補助) |

### 2 背景・事業目的

県内各地に残る文化財や伝統文化、伝統工芸などは、後継者や製作・修繕に使用する「道具」の確保などが、保存と伝承に向けた課題とされている。また、未だ埋もれている文化財の掘り起こしも必要である。

そこで、伝統文化の担い手の育成を支援するとともに、現在、実態が把握されていない文化財等の調査を実施することで、地域に残る文化資源を保存・伝承する素地を整えるとともに、その調査成果を広く発信していくことで、「清流の国ぎふ」文化の魅力向上を図る。

### 3 事業概要

#### (1) 地歌舞伎担い手育成支援事業費 (9,500 千円)

ぎふ清流文化プラザで2020年に予定している県下の地歌舞伎保存会による勢揃い公演の開催を見据え、各保存会に対して、出演者の練習や三味線などの伝承教室、将来を担う子どもたちを育成するための教室の開催に対して支援を行う。

#### (2) 古代・中世寺院跡総合調査 (5,000 千円)

県内約2,000箇所「古代・中世寺院跡」の規模・様相を調査し、埋もれている本県の仏教文化財の掘り起こしを行うとともに、その調査成果を県博物館と連携しながら、広く公開・発信する。

(平成30年度から4年間調査を実施予定)

#### (3) 匠の技を支える「道具」保存伝承事業 (18,000 千円)

匠の技を支える「道具」を保存し、製作する担い手を育成するため、それらの道具に関する基礎調査を行うとともに、保存・伝承への機運を醸成するシンポジウムの開催、失われゆく道具の収集等を実施する。

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (2) 企画調査費
(明細書事業名) ○文化財保護費		
	文化財愛護思想普及費	
	文化財保護管理費	
(明細書事業名) ○総合文化推進費		
	総合文化行政施策推進費	

所 属	環境生活部県民文化局文化創造課		
係 名	文化創造係	内線	2465

## 新 清流の国ぎふ芸術祭(ぎふ美術展・アート体験プログラム)の開催

1 事業費	47,289	(前年度)	0
【財源内訳】		【主な使途】	
一般財源	47,289	補助金	40,390 (事業費補助)
		需用費	2,425 (材料費等)

### 2 背景・事業目的

昭和21年から平成27年まで、69回の歴史を刻んだ「岐阜県美術展」について、時代の変遷や表現の多様化に合わせた見直しを行い、より多くの県民の皆さんが美術に親しむきっかけや、創造力、鑑賞力の向上に役立てていただくため、県民に広く発表する機会を提供する公募展「ぎふ美術展」を創設する。あわせて、年間を通じて美術講座等を開催し、アートに触れられる機会を提供する「アート体験プログラム」を実施する。

### 3 事業概要

#### (1) ぎふ美術展の開催 (29,826 千円)

美術をたしなむ県民の裾野を拡大するため、従来の部門を再編し、自由表現部門を新たに加えるとともに、作品サイズの規格等を緩和するなど、県民に創作作品をより広く発表する機会を提供する公募展を開催する。

部門：日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、自由表現の7部門

日時：平成30年6月9日(土)～17日(日) [8日間]

場所：岐阜県美術館

#### (2) アート体験プログラムの開催 (17,463 千円)

美術を身近に感じることができるよう、楽しく参加できるワークショップや、技術・知識の向上を求める方にも対応できる講座など、幅広い県民を対象としたプログラムを、年間を通じて展開する。

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (2) 企画調査費
(明細書事業名) ○文化祭推進費	岐阜県民文化祭開催費	

所 属	環境生活部県民文化局文化伝承課		
係 名	教育文化係	内線	3576

## 博物館機能の全県展開の本格実施

### 1 事業費 28,650 (前年度 18,945)

【財源内訳】		【主な用途】	
国庫	7,500	委託料	12,832 (事業委託)
使用料及び手数料	3,268	印刷製本費	4,363 (展示用印刷物)
一般財源	17,882	報償費	2,884 (講師謝礼等)

### 2 背景・事業目的

県博物館では、より多くの県民に本県の歴史や文化、自然に関する様々な収蔵資料や調査研究の成果を紹介するため、平成29年度から「博物館機能の全県展開」をスタートしている。

平成30年度は、県有文化施設のみならず、地元自治体や大学、民間施設等との連携を深化させながら、その取組みを本格的に展開していく。

### 3 事業概要

#### (1) 特別展の開催 (17,000 千円)

従来的人文・自然分野での特別展「信長・秀吉・家康と美濃池田家―大御乳(おおおち)・池田恒興・輝政の戦い―」「理科室からふるさとの自然を見つめて～知れば知るほど面白い標本の世界～」の開催に加え、全国に誇り得る岐阜県の重要な文化財である「刀剣」をテーマに、地元関市とも密接な連携を図りながら「兼定(※) 刀都・関の名工」展を開催する。

#### (2) 県内各地域での展示等の実施 (8,000 千円)

県図書館との連携企画展「歌川国芳 木曾街道六十九次」「芝居大国! 岐阜」や高山市での移動展「恐竜の世界～小田隆が描く古生物の姿～」の開催のほか、民間商業施設との連携企画や岐阜大学との連携展示を実施するなど、博物館機能の幅広い展開を行う。

#### (3) 企画展や博物館学芸講座の開催等 (3,650 千円)

企画展「化石が語る繁栄と絶滅～瑞浪層群の哺乳類化石～」と一流の研究者等による博物館学芸講座を開催する。

※兼定は関の孫六兼元と並び、最も有名な刀工のひとり。

二代兼定は和泉守を賜り、武田信虎、明智光秀、細川忠興など多数の武将が愛刀とした。

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (2) 企画調査費
(明細書事業名) ○博物館費		
		博物館展示費

所 属	環境生活部県民文化局文化伝承課		
係 名	教育文化係	内線	3576

## 県美術館の改修と休館中の魅力発信

【6月補正後187,549】

1 事業費 208,107 (前年度 90,349)

【財源内訳】

国庫	14,250
県債	98,000
使用料及び手数料	3,744
諸収入	105
一般財源	92,008

【主な使途】

委託料	108,935	(業務委託等)
工事請負費	81,195	(改修工事等)
需用費	8,640	(印刷製本費)

### 2 背景・事業目的

開館から35年が経過した県美術館では、空調設備等の老朽化により、美術品の管理に必要な温湿度水準の確実な維持が課題となっており、早急に改修工事を進める必要がある。

また、改修に伴う休館時にも、アートの魅力を継続して発信するため、アウトリーチ事業（館外活動）を県内各地で展開し、リニューアル後の美術館への誘客につなげる。

### 3 事業概要

#### (1) 美術館空調設備等の改修 (124,758 千円)

平成23年度に増築したエリアを除く本館等の空調設備の更新や給排水衛生設備等の改修工事を、平成30年秋から平成31年秋まで休館して実施する。

#### (2) アートの魅力発信 (78,015 千円)

養老公園で「アートまるケット」を、岐阜盲学校等で「アーティスト・イン・ミュージアム (A i M)」を実施するなど、他施設と連携した館外事業等を実施し、広く県民にアートの魅力に触れる機会を提供する。

#### 新 (3) アウトリーチ事業スタートフェスの開催 (1,785 千円)

「県民文化の日 (11/3)」に、美術館の休館とそれに伴うアウトリーチ事業を周知するイベントを開催し、招へいするアーティストや館外における事業展開を紹介する。

#### 新 (4) 美術館WEBサイトのリニューアル (3,549 千円)

スマートフォン等のような端末でも見やすく、ビジュアルによる発信ができるサイトにリニューアルし、アウトリーチ活動等美術館イベント情報を随時発信する。

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (2) 企画調査費
(明細書事業名) ○美術館費	美術館管理運営費	美術館展示費

所 属	環境生活部県民文化局文化伝承課		
係 名	教育文化係	内線	3576

## 新 サイエンスワールドにおける新規プログラム開発

### 1 事業費 179,582 (前年度 0)

#### 【財源内訳】

国庫 57,800  
 県債 40,000  
 一般財源 81,782

#### 【主な使途】

委託料 30,000 (事業委託)  
 工事請負費 149,000 (設備更新)

### 2 背景・事業目的

県先端科学技術体験センター（愛称：サイエンスワールド）は、子どもたちが科学体験や科学工作を通して科学技術の面白さや不思議さを体感できる科学館として親しまれている。

平成31年度に迎える開館20周年に向けて、看板メニューであるサイエンスショー（※）の新規プログラムを開発することにより、子どもたちの科学技術分野への興味・関心を深めるとともに、更なる利用促進を図る。

### 3 事業概要

#### (1) サイエンスショー新規プログラムの開発 (30,582千円)

「宇宙」をテーマとしたサイエンスショーを新たに開発し、開館20周年となる平成31年度に披露する。

#### (2) 先端科学技術体験センター設備機器更新費 (149,000千円)

サイエンスショーの実施会場「レクチャーラボ（定員200名）」の映像や照明系統などの設備機器を更新する。

※スクリーンに映し出された映像とパフォーマーによりステージで繰り広げられる実験等を組み合わせたライブショー。来館者の約1/4が利用する看板メニューで、現在、8本のプログラムがある。



レクチャーラボで実施される  
 観客参加型の看板メニュー  
 「サイエンスショー」

(款) 2 総務費 (項) 2 企画開発費 (目) (2) 企画調査費  
 (明細書事業名) ○岐阜県先端科学技術体験センター費  
 先端科学技術体験センター管理運営費

所 属	環境生活部県民文化局文化創造課		
係 名	文化振興係	内線	2455
	文化創造係		2465

## 2020年に向けた「ぎふ清流文化プラザ」文化振興事業の展開

1 事業費 150,000 (前年度 123,795)

【財源内訳】

【主な用途】

国費	24,000	委託料	69,984 (事業委託)
一般財源	126,000	補助金	80,016 (事業費補助)

### 2 背景・事業目的

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、全国各地で文化プログラムが展開されている中、ぎふ清流文化プラザにおいては、「東京2020参画プログラム」及び「beyond2020」の制度開始後、積極的に認証を受け、文化振興事業を国内外へ発信している。

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックや第33回全国健康福祉祭（ねんりんピック）を見据えた事業展開を更に推進することで、県民が文化芸術に参加し親しむ機会を提供するとともに、国内外に「清流の国ぎふ」文化を強力に発信していく。

### 3 事業概要

#### (1) ぎふ清流文化プラザ文化振興事業 (120,000 千円)

2020年を見据え、県民参加型の文化振興事業や障がいのあるなしに関わらず「ともに」新たな文化創造活動を行う「tomoni プロジェクト」等を展開していく。

##### ○地歌舞伎公演

複数団体による地歌舞伎公演を開催する「地歌舞伎推進プログラム」を実施し、2020年に開催を予定している県下全域の地歌舞伎保存団体が一堂に会した公演に向けて、機運の醸成を図る。

##### ○県民ミュージカルの開催

障がい者の社会復帰・活躍をテーマとする県民参加型のオリジナル・ミュージカルを平成29年度に続き制作・公演し、2020年のねんりんピック等での披露を目指していく。

#### (2) ひだ・みの創作オペラ開催事業 (30,000 千円)

県内の歴史、文化を題材とした、県民が参加する岐阜県オリジナルの「ひだ・みの創作オペラ」が、平成30年度に20周年を迎えることから、2020年までの3カ年を20周年記念事業と位置づけ、ぎふ清流文化プラザで特別公演を開催する。

(款) 2総務費	(項) 2企画開発費	(目) (2)企画調査費
(明細書事業名) ○文化施設管理費		
		ぎふ清流文化プラザ管理運営費
(明細書事業名) ○文化祭推進費		
		岐阜県民文化祭開催費

所 属	環境生活部県民生活課		
係 名	県民生活企画係	内線	2985

## 高齢者の消費者トラブル対策の強化

1 事業費	4,846 (前年度 2,799)
【財源内訳】	【主な用途】
国庫	1,100 委託料 1,100 (業務委託料)
一般財源	3,746 報償費 1,520 (講師謝金)

### 2 背景・事業目的

消費者トラブルに関する県への相談件数は、高齢者が相談者全体の4分の1を占めており、その相談内容は、近年の高齢者におけるスマートフォン保有率の増加を背景に、「身に覚えのないサイト利用料」、「ワンクリック請求」など、インターネットに関係するものが上位を占めている。

そのため、老人クラブや自治会などへの講師派遣による出前講座の開催に加え、高齢者を対象としたスマートフォンに関する消費者トラブル対策講座を開催することで、トラブルの未然防止を図る。

### 3 事業概要

#### 新 (1) 高齢者向けスマホ・カレッジ事業費 (1,100 千円)

県内3会場で、高齢者を対象としたスマートフォンに関する消費者トラブルへの対策講座を開催する。

【日程】平成30年10月 (予定)

【内容】・スマートフォンで注意したい消費者トラブル対策  
 ・寸劇による消費者トラブル対策 (振り込め詐欺等)  
 ・高齢者向け「暮らしの安全ガイドブック」紹介 など

#### (2) 暮らしの安全出前講座推進事業費 (3,746 千円)

老人クラブや自治会などに講師を派遣し、消費者トラブル対策など暮らしの安全に関する出前講座を開催する。

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (9) 県民生活行政費
(明細書事業名) ○消費者対策費		消費者啓発費

所 属	環境生活部環境企画課		
係 名	自然公園係	内線	2698

## 新 中部山岳国立公園の活性化

1 事業費 190,000 (前年度 0)

【財源内訳】

国庫 143,350  
 県債 28,800  
 一般財源 17,850

【主な用途】

工事請負費 142,770 (歩道改修等)  
 委託料 45,700 (実施設計等)

### 2 背景・事業目的

貴重な動植物や優れた山岳景観を有する中部山岳国立公園は、近年、利用者が大幅に減少し、同公園及びその周辺地域の活力の低下が懸念されている。

そのため、貴重な自然環境を保全しつつ、魅力の発掘・磨き上げや受入環境を整備するなど、国内外からの利用者増加に向けた取組みを地域と一体となって推進する。

### 3 事業概要

(1) 中部山岳国立公園魅力増進事業費 (26,000 千円)

- ・ 中部山岳国立公園の魅力を感じることができるガイドツアーの実施
- ・ 自然の魅力を伝えるガイド人材の育成
- ・ 学校教育と連動した小中学生向け環境教育プログラムの創設等

(2) 国立公園等整備事業費 (中部山岳国立公園：100,000 千円)

- ・ 中部山岳国立公園内の乗鞍畳平お花畑遊歩道の改修

(3) 自然環境整備交付金事業費 (58,000 千円)

- ・ 乗鞍肩の小屋トイレの老朽化に伴う施設改修
- ・ 中部山岳国立公園内の案内標識多言語化に係る設計委託
- ・ 乗鞍鶴ヶ池園地内歩道等のユニバーサルデザイン化に係る設計委託

(4) 乗鞍風力発電施設設置事業費 (6,000 千円)

- ・ 乗鞍畳平駐車場トイレに小型風力発電施設を整備

(款) 4 衛生費 (項) 6 環境管理費 (目) (2) 環境管理推進費  
 (明細書事業名) ○自然公園費  
 自然公園振興費

所 属	環境生活部環境企画課		
係 名	企画係	内線	2696

## 新 O N S E N ・ ガ ス ト ロ ノ ミ ー ウ ォ ー キ ン グ の 普 及

- 1 事 業 費 5, 5 0 0 (前年度 0)
- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| 【財源内訳】        | 【主な用途】              |
| 国庫 1, 9 0 2   | 委託料 3, 8 0 4 (業務委託) |
| 一般財源 3, 5 9 8 |                     |

### 2 背景・事業目的

温泉を拠点に「食」「自然」「文化・歴史」などの地域資源を活かした地域活性化や誘客につなげる取組み「ONSEN・ガストロノミーウォーキング\*」が全国で開催されている。同ウォーキングを通じた温泉地の更なる魅力発信方法について理解を深めるシンポジウムを開催することで、同ウォーキングの県内での普及を図る。

### 3 事業概要

#### 岐阜県温泉ガストロノミーウォーキング推進事業費 (5, 500 千円)

「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」や温泉を活用した地域活性化の取組みなどをテーマとした講演会・トークセッションを開催する。

(開催予定)

開催時期：平成30年5月

開催場所：高山市内

#### ※ONSEN・ガストロノミーウォーキング

- ・平成30年5月19日(土)に高山市の平湯温泉において、東海地方で初となる「ONSEN・ガストロノミーウォーキングin奥飛騨・平湯温泉」が開催される(主催：ONSEN・ガストロノミーウォーキングin奥飛騨・平湯温泉実行委員会)。

(款) 4 衛生費	(項) 6 環境管理費	(目) (2) 環境管理推進費
(明細書事業名) ○生活環境確保推進費	環境保全推進事業費	

所 属	環境生活部環境企画課		
係 名	生物多様性係	内線	2700

## 狩猟者の確保・育成の推進

1 事業費	21,746 (前年度 19,436)		
	【財源内訳】	【主な用途】	
	使用料及び手数料 14,572	委託料 6,636 (業務委託)	
	諸収入 1	印刷製本費 4,014 (狩猟者手帳等)	
	一般財源 7,173	補助金 1,120	

### 2 背景・事業目的

シカ、イノシシなどの野生鳥獣による農林業被害が深刻化・広域化する一方で、狩猟免許所持者の高齢化が進行しており、若年層を中心とした捕獲の担い手の確保と育成が喫緊の課題となっている。

そのため、県民が狩猟を知る機会を設けるほか、狩猟免許取得に関心のある方への講習会の開催や、学生に対する免許試験手数料の減額を通じて、新たな狩猟者を確保するとともに、免許所持者が狩猟のベテランから知恵や経験を学ぶ実地研修等を実施することで、狩猟者の育成を図る。

### 3 事業概要

#### (1) 狩猟者等指導費 (20,626 千円)

- 新**・銃猟を知り、体感する講習会を開催
- 新**・学生に対する狩猟免許試験手数料の減額を実施
  - ・土曜日に狩猟免許試験を実施
  - ・狩猟者事故防止研修、捕獲技術習得実地研修を開催
  - ・狩猟のルール等を記載した狩猟者手帳を作成 等

#### (2) 猟友会育成強化事業費補助金 (1,120 千円)

(一社)岐阜県猟友会が実施する狩猟者の技術向上等を目的とした事業に対して、経費の一部を助成する。

- ・射撃指導事業 (射撃大会の開催、参加)
- ・狩猟指導事業 (狩猟事故防止指導員の設置、広報活動)
- ・有害鳥獣捕獲指導事業 (実地研修会の開催) 等

(款) 4 衛生費	(項) 6 環境管理費	(目) (2) 環境管理推進費
(明細書事業名) ○鳥獣保護費		狩猟者指導費

所 属	環境生活部環境企画課		
係 名	生物多様性係	内線	2700

## 新 ニホンジカの効果的捕獲の検証

- 1 事業費 8,084 (前年度 0)
- |          |                  |
|----------|------------------|
| 【財源内訳】   | 【主な用途】           |
| 国庫 8,084 | 委託料 8,084 (業務委託) |

### 2 背景・事業目的

県内のニホンジカの生息数は増加傾向にあり、農林業被害だけでなく、生態系への影響も懸念されている。

ニホンジカの生息数を減少させるため、生息動向について調査を行うとともに、試行的な捕獲を実施し、これら一連についての科学的な検証を行う。また、その結果を認定鳥獣捕獲等事業者<sup>※</sup>等へ普及することで、効果的な捕獲の事業化を図る。

### 3 事業概要

#### (1) 効果的捕獲検証事業 (7,084 千円)

ニホンジカが通るルートや警戒度、出没頻度などについて科学的な検証を行うとともに、得られた結果に基づく試行的な捕獲を実施する。

(実施予定地)

本巢市根尾地区

#### (2) 認定鳥獣捕獲等事業者等の育成 (1,000 千円)

認定鳥獣捕獲等事業者等の捕獲技術の向上に向けた研修会を開催する。

※認定鳥獣捕獲等事業者

・鳥獣の捕獲等に係る安全管理体制や、従事者が適正かつ効率的に鳥獣の捕獲等をするために必要な技能及び知識を有する鳥獣捕獲等事業を実施する法人

(款) 4 衛生費	(項) 6 環境管理費	(目) (2) 環境管理推進費
(明細書事業名) ○鳥獣保護費		
(明細書事業名) ○鳥獣保護推進等事業費		

所 属	環境生活部廃棄物対策課		
係 名	企画調査係	内線	2714

## 新 「ぎふ食べきり運動」の推進

- 1 事業費 1,470 (前年度 0)
- |          |                    |
|----------|--------------------|
| 【財源内訳】   | 【主な使途】             |
| 国庫 735   | 委託料 1,089(講演会の開催等) |
| 一般財源 735 |                    |

### 2 背景・事業目的

循環型社会の形成にあたっては、県民一人ひとりの意識向上と実践が欠かせないことから、これまで県民に対し、日常生活の身近な課題である家庭ごみの減量化を積極的に推進している。

さらに、家庭ごみの約4割を占める食べ残し(食品廃棄物)を削減するため、県内の飲食店や企業等と連携して食べきり運動を推進することにより、県民の「食べきり」に対する意識向上と実践に向けた普及・啓発を図る。

### 3 事業概要

#### (1) 「ぎふ食べきり運動」協力店登録制度の創設(381千円)

「ぎふ食べきり運動」に協力する飲食店や企業等を協力店として登録し、県ホームページ等で紹介する。

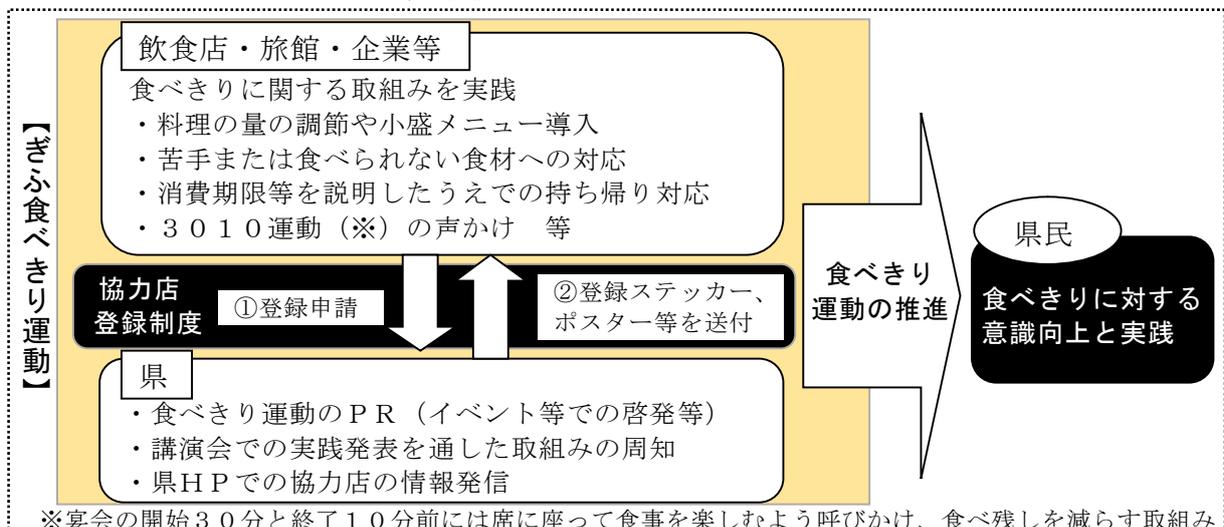
#### (2) 「ぎふ食べきり運動」推進講演会の開催(1,089千円)

協力店登録された飲食店や企業及び関係団体等を対象に、「ぎふ食べきり運動」を推進するための講演会を開催する。

開催時期：平成30年11月(予定)

場 所：高山市内

内 容：基調講演・実践発表



(款) 4 衛生費 (項) 6 環境管理費 (目) (2) 環境管理推進費  
(明細書事業名) ○生活環境確保推進費  
地球環境資源リサイクル推進費

所 属	環境生活部廃棄物対策課		
係 名	一般廃棄物係	内線	2716

## 浄化槽設置整備の推進

1 事業費	330,000 (前年度 330,000)
	【財源内訳】
	一般財源 330,000
	【主な使途】
	補助金 330,000

### 2 背景・事業目的

県内の汚水処理人口普及率<sup>※1</sup>は平成28年度末で91.6%であり、未だ約20万人が浄化槽や下水道などの汚水処理施設を利用できない状況にある。本県では、豊かな清流を将来にわたって守り、県民が快適で衛生的な生活を営むことができるよう、平成元年から浄化槽を設置する住民へ助成する市町村に対して補助を行っており、引き続き、当該事業を実施することで、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進する。

また、市町村が主体となって浄化槽を整備する事業に対する補助制度を新たに創設することで、さらなる汚水処理施設の普及促進を図る。

### 3 事業概要

#### (1) 浄化槽設置整備事業（個人設置型）

市町村が浄化槽の設置者に対し、設置に要する費用を助成する事業に対して、県がその一部を補助する。

← 浄化槽設置費		← 国庫補助対象額(4割)		
設置者 6割	国 1/3(1/2) <sup>※2</sup>	県 1/3(1/4)	市町村 1/3(1/4)	

#### 新 (2) 浄化槽市町村整備推進事業（市町村設置型）

市町村が設置主体となって浄化槽の整備を行う事業に対して、県が市町村の起債元金償還額の一部を補助する。

← 浄化槽設置費		← 国庫補助対象額(10割)		
使用者 3/30	国 10/30(15/30) <sup>※2</sup>	県 17/30(12/30) ×1/4	市町村 ×3/4	
		← 市町村起債償還額		

(償還額のうち、49%は市町村へ交付税措置されることから、市町村の実質的負担は県とほぼ同等)

※1 汚水処理人口普及率：総人口に占める汚水処理施設を使用することができる人口の割合

※2 ( )内は、環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業を実施した場合の補助率

(款) 4 衛生費	(項) 6 環境管理費	(目) (2) 環境管理推進費
(明細書事業名) ○一般廃棄物対策費 浄化槽対策費		

所 属	環境生活部環境生活政策課		
係 名	生涯学習係	内線	3575

## 地域と学校との協働活動の推進

1 事業費 37,532 (前年度 25,274)

【財源内訳】

【主な用途】

国庫 18,765 補助金 37,532  
一般財源 18,767

### 2 背景・事業目的

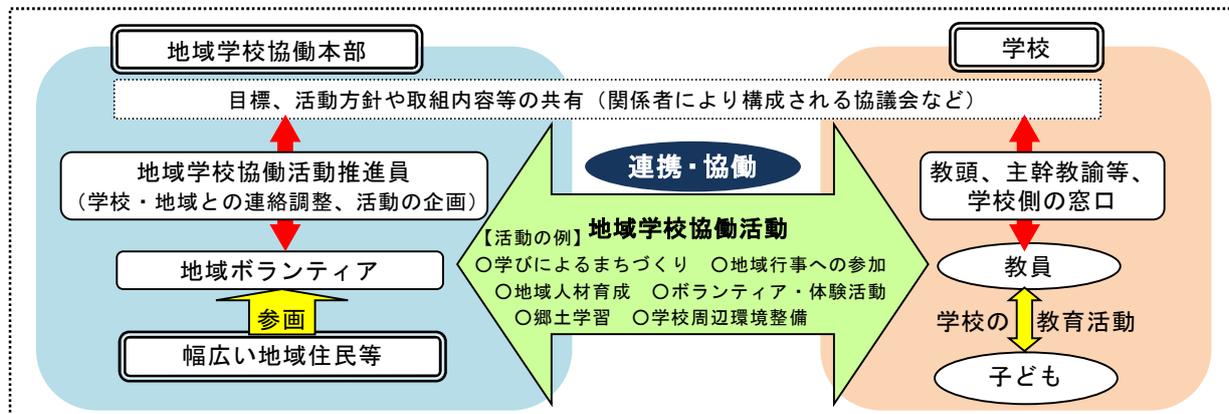
少子・高齢化の進展、地域の人間関係の希薄化、共働き世帯の増加等により、子どもたちを取り巻く地域の力が衰退している。

そのため、地域と学校がより連携を強め、地域住民等の参画による学校を核とした人づくりを実施することで、地域全体で子どもたちの成長を支えるとともに、地域の活力を高める。

### 3 事業概要

#### 新 (1) 地域学校協働活動推進事業費補助金 (2,054 千円)

地域住民や企業・団体等の参画により、「地域学校協働活動」を推進するため、地域学校協働本部の整備や地域学校協働活動推進員の配置を実施する市町村を支援する。



#### (2) 放課後子ども教室推進事業費補助金 (19,862 千円)

放課後の子どもの安全・安心な居場所を設け、地域住民との交流等に取り組む放課後子ども教室を実施する市町村を支援する。

#### (3) 土曜日の教育支援体制構築事業費補助金 (10,771 千円)

土曜日に学校や公民館等を活動場所として、地域の多様な人材を活用した教育プログラムを実施する市町村を支援する。

#### (4) 地域未来塾推進事業費補助金 (4,845 千円)

家庭での学習が困難であったり、学習習慣が身につけていない中学生等の学力向上を図るため、「地域未来塾」として、教員OBや教員を志望する大学生などの地域人材を活用した学習支援を実施する市町村を支援する。

(款) 2 総務費 (項) 2 企画開発費 (目) (9) 県民生活行政費  
(明細書事業名) ○社会参加活動費  
社会教育推進費

所 属	環境生活部私学振興・青少年課		
係 名	私学助成係	内線	2460

## 私立学校教育の振興

1 事業費 12,158,291 (前年度 11,840,383)

【財源内訳】

【主な使途】

国庫	4,019,626	補助金	12,021,462 (学校法人)
県債	18,000	扶助費	136,829 (私立高校生等)
一般財源	8,120,665		

### 2 背景・事業目的

私立学校は、建学の精神と独自の教育理念に基づく特色ある教育活動を行っており、本県の学校教育において重要な役割を果たしていることから、特色ある学校づくりや教育環境の充実に対する支援、保護者の経済的負担の軽減により私立学校教育の振興を図る。

### 3 事業概要

- (1) 私立高等学校等教育振興費補助金 (5,002,970 千円)
  - ・ 特色ある学校づくり (学校特色化支援事業等)
  - ・ 個性化教育の推進 (国際理解教育の推進等) 等
- (2) 私立幼稚園教育振興費補助金 (4,190,806 千円)
  - ・ 教育環境の充実 (人材確保促進事業等)
  - ・ 教育改革の推進 (預かり保育事業等) 等
- (3) 私立専修学校等教育振興費補助金 (148,200 千円)
  - ・ 教育環境の充実 (IT教育の推進等) 等
- (4) 私立学校耐震整備事業費補助金 (18,056 千円)
  - ・ 耐震化の支援
- (5) 認定こども園施設整備事業費補助金 (414,731 千円)
  - ・ 認定子ども園の施設整備
- (6) 私立高等学校生徒等就学支援 (2,383,528 千円)
  - ・ 授業料等の教育費負担の軽減

(款) 10 教育費	(項) 1 教育総務費	(目) (8) 私立学校振興費
(明細書事業名) ○私立学校振興助成費	私立高等学校等教育振興費補助金	私立幼稚園教育振興費補助金
	私立専修学校等教育振興費補助金	私立学校等施設整備費補助金
	私立高等学校等就学支援費	私立高等学校等授業料軽減補助金